

令和4年7月19日

宗像市議会
議長 神谷 建一 様

予算第2特別委員会
委員長 井浦 潤也

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第56号議案 令和4年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について

原油価格及び物価高騰等に対する市民及び事業者の経済的負担の軽減を目的として下水道使用料を減免するため、収益的収入及び支出を1,000万円増額し、収入総額を30億6,797万7千円とし、支出総額を27億1,790万1千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 一般世帯だけではなく事業者も含む全ての下水道使用者約4万3,000件について、30立米相当の使用料4,967円を上限に10月使用分から12月使用分までの3か月分を減免する。これにより、約9割以上の一般世帯が全額免除となる見込みである。なお、使用量が30立米を超える使用者の大半は事業者である。
- 2 下水道使用料は、宗像地区事務組合に徴収事務を委託しており、同組合の上下水道料金システムにより料金計算が行われていることから、下水道使用料減免にかかる料金システム改修費用として委託料を増額する。なお、このシステム改修に約3か月を要するため、10月使用分から減免を開始する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。